

## テーマ「3次元空間光センシングの最前線」

世界の車両監視市場の増大や ICT 技術の普及に伴う空間認識の重要性が高まる中で、それらに必要な計測技術に対してさらなる感度、測定スピード、分解能、耐環境雑音性の向上が望まれている。そのような中で、代表的な飛行時間法 (ToF) をベースとした空間計測技術をはじめ、近年ではレーザーや検出器をはじめとしたデバイス開発や計測システムの研究開発の活発化による性能飛躍の可能性に大きな期待が寄せられている。そこで本シンポジウムでは、光による次世代空間計測技術の性能向上の飛躍を担う光デバイスやセンシングシステム、および関連技術に焦点を当てて研究紹介と議論を行うことを趣旨とする。

日時：2024年3月24日(日) 開始13:30～ 終了17:00

場所：東京都市大学 世田谷キャンパス 61A(6号館) & オンライン

講演時刻	講演者	講演タイトル
13:30 - 13:45	塩田 達俊 (埼玉大)、 崔 森悦 (新潟大)	オープニング：3次元空間光センシングの最前線
13:45 - 14:15	横地 界斗 (ソニーセミ コンダクタソリューションズ(株))	dToF-SPAD 測距技術進化と展望
14:15 - 14:45	川人 祥二、安富 啓 太、マース カメル、香 川 景一郎 (静大電研)	マルチタップ ToF ピクセルによる 3D 光センシングデバイスの現状と動向
14:45 - 15:15	中村 智宣 (SCIVAX(株))	広角・遠方・低消費電力 3D センシングを可能にする新規光学レンズとその応用
15:30 - 16:00	安達 俊夫 (株)シユルード設計)	3D 測定器の利用実例と課題
16:00 - 16:30	西澤 智明 (国環研)	ライダーを用いた大気エアロゾルの観測
16:30 - 17:00	染川 智弘 (レーザー総 研、阪大レーザー研)	ラマンライダーによる水中モニタリング手法の開発

企画：応用物理学会 光波センシング技術研究会

世話人：塩田 達俊 (埼玉大学)

問合せ：tshioda@mail.saitama-u.ac.jp